

### 経営課題3 コミュニティの活性化とまちの魅力の創出

#### 具体的取組3 商店街の魅力向上

2 まちの魅力創出や地域経済活性化施策の展開

##### 指標

商店街に魅力を感じる区民の割合  
《区民アンケート》

目標値 75%以上

達成状況 71.8%

##### 取組実績

- 空き店舗対策のきっかけとするための商店主向け勉強会を2回開催する予定だったが、新型コロナ感染症の拡大防止のため延期。
- インバウンド誘致に向けた体験メニューにかかる案内パンフレットの配布やホームページを公開



インバウンド向け案内パンフレット

##### 課題や改善策

###### 【課題】

- 商店街としての魅力を持続するため、空き店舗に若手商店主を誘致する取組が必要
- 体験メニューをより広く周知して大阪を訪れる方に知ってもらうことが必要
- 今後は商店街の意向を確認しつつ、新型コロナウイルス感染症拡大防止を見据えた新たな手法の検討が必要

###### 【改善策】

若手商店主の横の連携を強化するための勉強会の開催や、区内店舗を利用した体験メニューの開発及び観光サイト等も活用しながらインバウンド誘致に取り組む。  
また、商店街と連携した空き店舗対策を行い、商店街の魅力向上を図る。



専門店によるゼミナール

##### 令和2年度の主な取組

区内若手商店主の横のつながりを強化するため、若手商店主の育成のための勉強会を新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ開催し、商店街の課題となっている空き店舗の対策を行う。

区内の各店舗で、インバウンド誘致の取組や店舗の魅力発信を行う。

- 若手商店主向け勉強会 3回
- 空き店舗への若手商店主の誘致
- インバウンド誘致（情報発信・体験メニュー）

33

34

## 重点的に取り組む主な経営課題

### 経営課題4 地域防災力・地域防犯力の強化

#### めざすべき将来像

地震や台風、火災、河川氾濫等による災害の発生や被害の拡大を、自主防災組織の活躍により、最小限に止めることができる体制をつくるとともに防災意識の高いまちづくりをめざす。犯罪や交通事故のない、安全で安心して暮らせるまちづくりを、関係機関や地域と協働してめざす。

#### 戦略 4-1 「ご近助」精神による防災体制の充実

- ・地域ごとの特性や熟度に応じた防災体制づくりを進める。
- ・災害時の初動に強い自助・共助（ご近助）の地域づくりをめざし、大型粉末消火器や防災物資等の使用方法等のPRに努める。

#### 戦略 4-2 地域防犯力の強化

- ・防犯パトロール活動や防犯啓発を実施するとともに、区民による防犯ボランティア活動を支援することにより自主防犯活動の意識の向上を図り、安全で安心なまちづくりの取組みを進める。特に自転車盗対策の強化に市民局や警察署と連携しながら重点的に取り組む。
- ・交通マナーの向上や、「交通事故をなくす運動旭区推進本部」による交通事故をなくす取組み、放置自転車・自転車のマナーアップの取組みを継続して実施し、安全で安心して暮らせるまちづくりの取組みを進める。
- ・やなぎ通りの歩行者・自転車の安全・安心をめざし、平成28年度に旭郵便局前に区役所が管理する駐輪場を整備した。今後、警察・建設局・地域・周辺事業者の協力を得て、やなぎ通りの歩道にある自転車を無くす。さらに、やなぎ通りを自転車の安全通行モデル路線として整備していく。

35

項目	内容	有効性	項目	内容	有効性
戦略 4-1	「ご近助」精神による防災体制の充実	ア	戦略 4-2	地域防犯力の強化	ア
具体的取組	1 地域防災意識の向上 2 地域防災力の底上げ	ア	具体的取組	1 防犯対策の強化 2 交通安全・自転車のマナーアップ及び放置自転車対策の強化	ア

ア：有効であり、継続して推進  
イ：有効でないため、取組を見直す  
ー：プロセス指標未設定(未測定)

36

## 経営課題4 地域防災力・地域防犯力の強化

### 1 「ご近助」精神による防災体制の充実

#### 具体的取組1 地域防災意識の向上

##### 指標

各家庭において、防災対策をとっている区民の割合  
<区民アンケート>

目標値 60%以上

達成状況 76.0%

##### 取組実績

- ・防災啓発  
防災啓発講座14回 受講者 延735人  
広報紙による防災啓発（防災特集号を年1回発行）  
旭区地域防災計画の改訂（令和元年度）
- ・防災訓練  
避難所開設訓練を含む防災演習・ワークショップ：19回  
地域防災リーダー訓練（地域一体型防災訓練）の実施：10校下  
区職員防災訓練の実施（区医師会との連携訓練）  
大阪府トラック協会東北支部との連携訓練  
区職員（避難所担当）の地域の避難所開設訓練への参加



防災啓発講座



職員防災訓練

##### 令和2年度の主な取組

- ・防災啓発  
地域での防災講座、学校での土曜授業、広報紙等による防災啓発を実施
- ・防災訓練・研修  
自主防災組織及び地域防災リーダーの育成  
区職員の防災力向上のための訓練や研修を実施

37

## 経営課題4 地域防災力・地域防犯力の強化

### 1 「ご近助」精神による防災体制の充実

#### 具体的取組2 地域防災力の底上げ

##### 指標

旭区の防災物資等の整備状況等に満足している区民の割合（区民アンケート）

目標値 40%以上

達成状況 74.4%

##### 取組実績

- ・防災拠点の整備・充実  
備蓄物資等の資器材、カセットガス式発電機、災害用仮設トイレ配備、LED投光器、荷物搬送用ワゴン、避難所間仕切り
- ・地域や関係機関等との連携  
地域防災担当者合同連絡会の開催（月1回）  
空家に関する専門機関の情報提供や個別相談を行うセミナーの開催（1回）
- ・初期消火体制の維持  
大型粉末消火器の配備（105台）



大型消火器



空家セミナー

##### 令和2年度の主な取組

- ・防災拠点の整備・充実  
必要な防災物資等の整備・充実を図り、地域の災害対策本部や避難所並びに区災害対策本部の機能強化に取組む。
- ・地域や関係機関等との連携  
避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援、空家対策、関係機関や民間事業者との災害時連携や協定締結等の取組を推進
- ・初期消火体制の維持 大型粉末消火器の使用方法を周知

38

## 具体的取組1 防犯対策の強化

## 指標

令和元年の街頭における犯罪発生件数を前年より減少

目標値 429件以下

達成状況 375件

## 取組実績

- ・青色防犯パトロール 223回
- ・子どもの安全巡回パトロール 168回
- ・区民協働による自転車盗難防止と旭警察署との合同ひったくり防止キャンペーン  
11回（1回は雨天のため中止）
- ・防犯教室事業 13回
- ・警察・大工大女子学生との合同啓発 2回
- ・防犯カメラ維持管理 30台分、設置 1ヶ所
- ・落書き防止ペイントや落書き消去活動 1カ所



ひったくり防止キャンペーン



自転車窃盗被害防止キャンペーン

## 令和2年度の主な取組

警察と連携し、地域と協働して防犯啓発を実施

- ・EV車による青色防犯パトロールの実施（200回）
- ・増加する自転車盗の抑制に向け、警察と連携し、地域と協働して自転車盗難防止キャンペーンやひったくり防止キャンペーン等を実施（24回）。
- ・街頭犯罪の抑止と子どもの安全をはかるために防犯カメラの維持管理等を実施（10台分）
- ・【新】防犯カメラの設置場所として城北運河遊歩道を選定し、令和2～4年で必要数を配備。防犯環境を整備

39

## 具体的取組2 交通安全・自転車のマナーアップ及び放置自転車対策の強化

## 指標

令和元年の区内自転車交通事故発生件数を前年より減少

目標値 99件以下

達成状況 93件

## 取組実績

- ・交通安全大会 2回
- ・区民参加の街頭啓発等 2回
- ・警察と連携して自転車のマナーアップや放置自転車対策としての啓発 11回
- ・警察と合同で自転車検問と指導 3回
- ・自転車関連の内容を中心とした交通安全教室  
(子ども、高齢者、子育て世代) 開催 17回
- ・やなぎ通りや駅など効率的な自転車撤去の実施  
(放置自転車撤去対象駅 7駅、撤去回数562回)



春の交通安全大会



小学校交通安全教室

## 令和2年度の主な取組

「交通事故をなくす運動旭区推進本部」を中心に、交通安全大会の開催や警察と連携した街頭啓発等を実施

- ・交通安全大会や区民との街頭啓発（秋開催）※コロナウィルス感染症の影響により、春は開催中止
- ・駅や中心市街地の特性を踏まえた効率的な撤去の実施（区長権限建設局実施）：撤去対象駅 7駅

やなぎ通りをモデル路線として、地域住民、周辺事業者、工営所等と連携し、交通違反防止のための自転車通行ルールの路面表示や信号遵守の啓発看板を設置  
区設置駐輪場の利用を呼びかけるとともに、積極的な撤去を実施

40